

事業報告概要書（公表版）

1 基本情報							
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要					
都市部の公園・北部グループ		（指定管理者名）公益財団法人 東京都公園協会 （団体の概要）都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業（指定管理者事業を含む）及び収益事業を行う。					
指定期間							
R5.4.1 ～ R10.3.31（5年間）							
2 施設名		3 収支(単位:千円)					
戸山公園・善福寺公園・高井戸公園・浮間公園・赤塚公園・石神井公園・大泉中央公園・練馬城址公園			令和6年度	令和5年度	令和4年度	公園別支出額	
		項目	金額	金額	金額		
		収入 計	911,649	834,954	753,519	戸山公園：167,498 善福寺公園：78,917 高井戸公園：80,281 浮間公園：123,457 赤塚公園：160,118 石神井公園：177,863 大泉中央公園：81,720 練馬城址公園：38,903	
		内訳	指定管理料	911,649	834,954		753,519
			利用料金		0		0
			その他収入		0		0
		支出 計	908,756	830,322	724,522		
収支差	2,893	4,632	28,997				
4 管理運営の概要							
基本理念： みんなが「いきいき」水とみどりのサステナブルパーク 【パートナーシップ】 公園がまちの顔に、暮らしの真ん中に ・戸山公園では、開園70周年を記念して、地元郷土資料館等と連携し、公園や地域の歴史に関する魅力を広く発信した。 ・赤塚公園では、開園50周年を記念して、地域の企業や学校等との連携によるイベント開催や一般公募によるオリジナルキャラクターの作成など地域に密着した事業展開を推進した。 【インクルーシブ】 みんながふらり、気軽にコミュニケーション ・子育て支援のNPO法人と連携した「子どもの居場所づくり」を推進し、自然体験プログラムの提供やインターンシップ活動を支援した。 ・浮間公園では、北区聴覚障害者協会や大学手話サークル等と連携し、視覚だけでも楽しめる星空観望会を初開催した。 【レガシー】 自然・歴史資源、時代をつなぐ公園づくり ・樹木点検アプリを活用した計画的な樹木管理等、安全・安心な環境を整えた。 ・公園環境に重大な影響を及ぼしかねない緊急事態に際しても、東京都と連携しながら積極的な提案と対応を行い、公園資源を維持した。 ・ボランティアとの連携で生態系の魅力やモニタリング結果の発信、活動を推進した。							
5 管理状況							
①維持管理							
・戸山公園では、東京都の土壌調査により、基準値を超える「鉛及びその化合物」が検出された。そのため、一部を立入制限措置することとなった。立入制限措置、土の飛散防止対策について、適宜東京都に確認及び進捗状況等情報共有を図るとともに、迅速に対応した。 ・善福寺公園では、東京都を通じてAEDを屋外に設置してほしいという要望があった。屋外用ボックスの仕様や電源の有無など確認をし、バス停付近に設置をした。夜間でも緊急時に使用できる環境を提供した。 ・高井戸公園では、地域の町会などからも危険視されている神田川沿いの斜面地の竹やぶや倒木などの撤去を進め、杉並区と連携して、大雨や台風等の自然災害時における神田川の洪水などのリスクを軽減する取組を進めた。 ・浮間公園では、浮間ヶ池東側の護岸が崩落したため、安全領域を確保するとともに特約店業者に依頼し、東京都に情報共有をしつつ迅速に補修を実施し、来園者の安全を確保した。 ・赤塚公園では、ニリンソウ群生地周辺の園路に段差があったため、車椅子でも走行が可能な舗装に改善した。また、車椅子が利用できるか不明な園路に案内看板を設置し、安心して使用できる環境を整えた。 ・石神井公園では、落雷の影響により、三宝寺池井戸ポンプの故障したため、東京都やボランティア団体と協議を図り、緊急起工による対応により迅速にポンプの補修を実施した。そのため、三宝寺池も早期に復水し、景観回復することで、利用者からも安堵の声をいただいた。 ・大泉中央公園では、施設の予防保全的観点からベンチ、野外卓の塗装および座板交換を実施し、施設の長寿命化、ライフサイクルコストの軽減、機能維持、美観の向上に寄与した。また、支援学校からの要望に基づき、フジの根上りによる段差解消工事を実施し、誰もが安全に利用できる環境を整えた。 ・練馬城址公園では、熱中症対策として遊具広場一部の床面に試行的に遮熱塗料を塗布し、温度上昇低減を試行的に実施した。また皿型側溝をまたぐ園路に板を取り付けることで、自転車や車椅子の段差解消を行い、安全安心な環境を整えた。							
②利用者への対応							
・戸山公園では、路上生活者の指導や自立支援、夜間を含む利用適正化を推進し、園内の安全や快適性を向上した。 ・善福寺公園は、近隣小学校と連携し、小学生目線での公園の魅力を発信。QRコードを園内に掲示し、音声、動画、画像で公園の魅力を伝え、利用促進につなげた。 ・高井戸公園では南地区開園に伴い、区道を挟むため、子どもたちに北地区と南地区の横断について注意喚起を行うなど利用者の安全確保に努めた。 ・浮間公園では、聴覚障害者も解説がわかるよう工夫した星空観望会を初実施し、インクルーシブな公園利用をさらに推進した。 ・赤塚公園では、地域の子どもたちを巻き込んで、トイレの外壁塗装リニューアルを実施し、快適空間を提供することで、公園利用をさらに推進した。 ・石神井公園では、図書館と連携して、公園の自然の見ごろ情報や昆虫等の生態展示など地域を周遊する企画を立ち上げ、地域の活性化に繋げた。 ・大泉中央公園では、地域の子ども達を巻き込んだ、アート作品展示や地場野菜の育成、自然観察会などの活動によって、地域コミュニティの形成と多世代交流の推進に寄与した。 ・練馬城址公園では、近隣施設や住民のニーズに応え防災施設の紹介を行い、公園の防災に対する位置づけの周知や近隣住民の防災への意識を高め、地域の災害対応力向上に貢献した。							
6 利用者アンケート結果							
実施方法：公園内で調査票を配布・回収／QRコード掲示によるWEBアンケート							
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応		
戸山公園	4.9	4.8	4.7	4.8	4.9		
善福寺公園	4.8	4.7	4.6	4.8	4.8		
高井戸公園	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9		
浮間公園	4.9	4.9	4.7	4.7	4.8		
赤塚公園	4.8	4.9	4.7	4.9	4.9		
石神井公園	4.9	4.8	4.6	4.8	4.9		
大泉中央公園	4.8	4.7	4.7	4.7	4.8		
練馬城址公園	4.8	4.6	4.6	4.7	4.8		
7 入園者数の状況（単位：人）							
施設名	当該年度	分析					
戸山公園	984,326	地域連携イベント等を充実させたが、大久保地区一部立入制限の影響で11月から減少した。					
善福寺公園	786,309	夏場の日よけ大型テント設置実験など地域に根付いた公園管理を実施し、昨年と同様の入園者数であった。					
高井戸公園	536,436	南地区開園に伴うイベントを年2回実施や、新たにテニスコート供用開始により利用者数が増加した。					
浮間公園	1,371,188	聴覚障がい者を対象としたイベントを初実施するなど新たな事業をさらに推進し、昨年と同様の入園者数であった。					
赤塚公園	733,323	猛暑の影響で夏の利用者が減少したが、公園キャラクターを作製して活用し、昨年比10％減少にとどめた。					
石神井公園	1,909,681	A野球場再開やSNSフォロワー数約1,300人増加するなど、年間を通じて利用者数が大幅に増加した。					
大泉中央公園	241,055	落雷など気象災害の影響でじゃぶじゃぶ池の利用者が大幅に減少し、昨年に比べ10％減少した。					
練馬城址公園	1,549,727	開園2年目となり、地域と連携して様々な事業やイベント展開するなど、より認知され利用者数が増加した。					
合 計	8,112,045						



戸山公園

多様な世代や国籍、文化が交わる
活気あふれる公園



所在地：新宿区大久保三丁目、戸山一・二・三丁目／開園面積：18.6ha

開園70周年の戸山公園をもっと多くの人に知ってもらうための取組！

NEW 自園のラベンダーを使ったイベント

地域住民と連携した「アロマキャンドル作り」、クリーンアップと連動した「ラベンダーの苗プレゼント」を実施。単なる苗の配布ではなく、**大人から子どもまでが参加し公園の美化意識向上に大きく貢献した。**



公園の美化に協力して、ラベンダーの苗をもらいました！

NEW 戸山公園今昔写真展他

戸山公園と近隣の歴史を振り返る写真展を開催。展示パネルは、新宿歴史博物館や近隣住民から写真を借りて作成し、また、解説をとおして、**地域との関係強化と、近隣住民との交流を深めた。**



写真展で賑わうサービスセンターテラス

歴史資源の活用で戸山公園の価値と魅力を発信！

Update 野外演奏場跡を活用した箱根山演劇祭！

令和5年度から始動した「箱根山演劇祭」、今年度も現地合同見学会やワークショップへの申込みが多数あり、**戸山公園の看板イベント**となりつつある。今年度は、**公演数が前年比160%、観客数227%と盛況に終えた。**



公演数 16回／観客数 603人

年々増えている野外演劇祭の観客

Update 箱根山登頂キャンペーン

「**山の日全国大会2024TOKYO**」と連携して開催、また、ラジオの生放送でも取りあげられ、**登山者は前年の160%にものぼった。**熱中症対策として都から依頼されたポスターを掲示して注意喚起し、登頂者には冷たい麦茶を振舞った。



夏休みということもあり家族連れが多いです！



地域の皆で創り上げてゆく公園！

NEW 戸山公園の「パークミーティング」

パークミーティングを初開催。行政及び戸山ハイツ各地区自治会、PTA等11団体が参加し意見交換を行った。今年度の取組について発表し、参加者から「**意義ある公園の取組を知り、興味関心が湧いた**」との声があった。多様な主体が初顔合わせし、地区の不法投棄などの課題や要望を共有し、対策・対応等を相談。**公園をハブに地域振興や公園の利活用推進のための連携を構築し公園運営における協力関係の強化に結びついた。**



公園の取組を発表



地域の不法投棄現場の確認

公園でああなたの夢かなえませんか？ ～公園マイプラン～

NEW 「夏の野外上映会」と「あおぞら音楽会」

「夏の野外上映会」は、プレイパークの提案を戸山図書館とも連携し、フィルム映画の上映を実現した。野外上映会は初めての子どもが多く、夏休みの思い出、**誰もが楽しめる機会づくりに貢献**できた。

「あおぞら音楽会」は、障がい者と地域住民が、音楽やダンスを通じた交流を目指して実施。障がいを持つ方々も準備から関わって、**社会参加の場**とできた。外出に不安を持つ障がい者に向けて告知したことで参加につながり「また遊びにきたい」と**再来園のきっかけづくりに貢献**した。



夏の野外上映会



あおぞら音楽会

公園のトイレを皆でリニューアル！

NEW 箱根山地区5号トイレ One up 作戦！

とかく「暗い、汚い」等と敬遠されがちな公園のトイレを、近隣学校と協働で明るい印象となる外壁にリニューアル。**デザインは都立総合芸術高等学校の生徒**が作成、**着彩は近隣在住の小学生20人**で行った。地域の高校生、小学生が力を合わせ素晴らしい作品を創り上げ公園の美観向上が実現できた。



Before

殺風景だった旧5号トイレ



After

リニューアル後の5号トイレ

土壌調査結果による公園内の立ち入り制限

Update 鉛と水銀の検出による立ち入り制限

都が行った土壌調査の結果、「鉛及びその化合物」と「総水銀化合物」が検出されたため至急に対応を行った。都が示す対象地の図面をもとに、グループ内他公園の職員、特約店業者併せて31人体制を構築し**立ち入り制限箇所の閉鎖を迅速に実施**。さらに**飛散防止対策を7,380㎡実施**。併せて、制限内容の掲示や近隣住民の間合せ対応を行い理解を得て、**安全安心な状態を維持**した。



立ち入り制限箇所の封鎖及びTV取材対応



善福寺公園

地域一帯で、武蔵野の豊かな自然と文化を守り育てる公園



所在地：杉並区善福寺二・三丁目／開園面積：8ha

パートナーシップを活かし、近隣の地域の人たちと一緒に活気ある公園作りを実施

NEW

近隣小学校に一年をかけ総合授業に協力。学習発表の内容をQRコードで発表

近隣の杉並区立桃井第四小学校と連携し、3年生92人が、総合の授業で公園の魅力を紹介する「善福寺公園の魅力を発見！」を1年かけて実施。内容が見られるQRコードを刻印した木札を園内に21カ所に配置。子ども目線で新たな公園の魅力を発信して、DXを活用した広報活動「小学生監修の公園ガイド」を実施した。



QRコードがざすと善福寺公園のいいところを音声、画像、動画などで紹介

Update

誰でも公園を利用してもらえるように工夫をし考えて球根植えを実施

みんなが水と緑に親しめる体験ができるようなおもてなしを（社）視覚障害者支援総合センターとコラボして「視覚に頼らず自然に触れる園内散策ガイド」の中で、今年度は、匂いがするスイセンの花の球根を初めて植栽するインクルーシブな花壇作りを実現。「初めて球根に触り、植付もできた」と花壇づくりの楽しさを伝えた。



誰もが楽しめる花壇づくりを12月に実施

NEW

地域の声を聴き実現するパークミーティングを実施

近隣町内会、地域団体など16団体が参加をして「公園ができる地域活性化について」をテーマにパークミーティングを開催。初めて会う団体同士が相互の活動を理解し、連携のきっかけづくりができた。



今年度初めて開催したパークミーティング

NEW

老若男女誰もが楽しめるモルックで地域活性交流

地域住民の健康促進と交流の場として誰でも簡単にできるフィンランドのアウトドアスポーツモルック大会を近隣の東京女子大学と協働で2回開催。210人以上が参加し地域活性化の一助となった。



海外の方も数多くモルック交流会に参加

NEW

「暑い夏どうにかして」の声にテントを張りデータ収集

子どもたちが夏でも安心して遊べる環境づくりを目的に、暑熱対策や日中の新しい利用の検証ためにボランティアと共にタープテントを設置し観測。最大2.9℃の効果があり、対策のための貴重なデータとした。



遊具広場に4メートルのタープテント設置



野鳥と自然、武蔵野の自然を多くの人たちに伝える活動を団体、ボランティアと実施

NEW 「日本野鳥の会」創設90周年を記念して 野鳥メンバーと発祥の地とイベントを開催

日本野鳥の会創立90周年を記念し、当園が会発祥の地として野鳥のネイチャーイベントを「開園60周年記念」メンバーと協働で実施。日本野鳥の会のブース出展の他、野鳥観察会、日本野鳥の会創設者 中西悟堂の特別野外講演を園内で行い536人が参加。野鳥観察の聖地善福寺公園と武蔵野の自然をアピールした。



中西悟堂研究家西村眞一氏の中西悟堂特別野外講演会

NEW 野鳥保護を後世に引き継ぎ、伝え続ける 子どもたちによる巣箱作り・巣箱かけ

毎年10月に「開園60周年記念」メンバーと実施しているネイチャーイベント「LOVE善福寺公園！」では、今年、日本野鳥の会創立90周年記念し地域の子供達と一緒に12個の巣箱を制作。翌1月には園内の木に巣箱をかけ、ずっと野鳥を見守って、後世にも野鳥保護を行っていきけるように保全活動や普及啓発活動を実施した。



職員、野鳥ボランティアと協働で巣箱作りのお手伝い

「こいのぼり」だけではない更に魅力的な四季折々の季節の風物詩のイベントを展開

Update セタ、昨年度から実施のあかりテラス 四季折々のイベントで公園の魅力が向上

セタは、短冊記入台の常設、笹飾りの工作イベントを実施し来園者に600枚（去年の100枚増）短冊を書いていただいた。

昨年から実施したライトアップイベント。地域団体、商店などにも協力を得て昨年の2倍、319個の手作り行灯が灯され、2,268人の参加者で賑った。



いっぱい短冊が飾られた「笹飾り」



秋の風物詩になった「あかりテラス」

常に「安心・安全」を意識して、利用者の要望・意見に素早く対応し実現した公園管理

NEW 警察、消防との水難救助訓練

池のある公園として水難事故に備え、警察・消防関係機関との連携を強化した、合同水難救助・心肺蘇生・AED訓練を初めて実施。



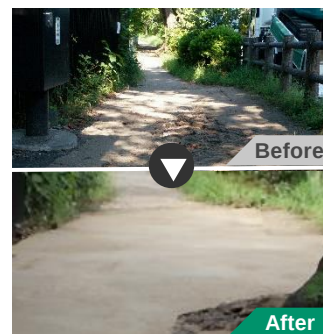
警察署、消防署、公園職員が参加した水難救助訓練

Update 利用者の要望、意見に、速やかに対応し調査を行い、 みんなが安心して過ごせる公園にする施設補修を実施

深夜や早朝など24時間対応できるように野外にAEDを設置してほしい、根上りの不陸でベビーカーなどが通行しづらい等の要望・意見に素早く対応し、設置・改修を実施し感謝の言葉をいただいた。



AED設置



不陸解消



高井戸公園

親子連れをはじめとした地域ぐるみで
つくる、わくわく公園



所在地：杉並区久我山二丁目／開園面積：10.9ha

開園記念イベントで、高井戸公園を120%楽しもう！

NEW 6月：高井戸公園あおぞらマルシェ

追加開園を記念してイベントを実施。防災スタンプラリーや野菜販売、花苗植え、着ぐるみとの写真撮影等で、近隣住民とともに公園の新たなスタートを祝った。**ケータリングカーを出店して飲食サービスへの需要に応え、各コンテンツで行列ができる盛況ぶりだった。**



地元JAによる野菜販売では、長い行列ができた

NEW 11月：高井戸公園あおぞらフェスタ

開園記念の第二弾では、**初の音楽プログラムを実施**。近隣中学校による吹奏楽、地元の教室によるキッズダンス、都立高校音楽科のJAZZ演奏等でイベントを盛り上げた。その他プレーパーク体験、モルック教室等で、**公園を核とした新たな地域連携を創出した。**



あおぞらマルシェ来場者 約2,150人

近隣中学校吹奏楽部による演奏

公園の草地に豊かな自然を発見

Update エコパッチエリア アピールのため看板設置



エコパッチエリアを虫たちのレストランに！

北地区の一部では、昨年度からセイバンモロコシ等の外来種の駆除を進め、草丈を長めに保ち虫たちが集まる場を今年度「虫たちのレストラン」として看板を設置した。**生態系保全の取組をアピール**して、子ども達が生き物にふれる場とした。



子ども達が虫取りに来る人気の場所になった

Update 自然観察会の結果、豊かな自然が明らかに

6月の自然観察会、また近在の小学生の自由研究では、園内と神田川の遊歩道にて実に80種以上の昆虫やクモ、200個以上のカマキリの卵囊を観測。**草地には豊かな生態系が存在することを伝えた。**



自然観察会では生態系の豊かさを実感



公園でやってみたいことの実現へ！ ～公園マイプラン～

NEW アンケートでニーズを把握

サービスセンター内ホールにてシールアンケートを実施。**子どもたちからの声に応えるべく、今年度はあおぞら運動会の実施**へとつなげ、次年度もニーズに応えるイベントを実施していく。



あおぞら会議シールアンケート

NEW 3月：高井戸公園あおぞら運動会

「公園であなたの夢をかなえませんか？」と近隣の小学生親子にアンケートを実施したところ、「公園で運動会をやりたい！」との要望を得たため、**近隣の大学や高校などとも連携して親子運動会とスポーツ体験を兼ねた『あおぞら運動会』を実施**。親子と高校生、大学生と一緒にチームを作って運動会を楽しんだ。また、ソフトボールなどのスポーツ体験や、ラグビーの試合観戦も楽しむなど**地域交流を進め、学校に隣接する公園として新たな可能性を広げた**。



世代を超えた取組となり、新たな地域交流のかたちを提案した



自治体と連携して神田川の危険を除去

NEW 川沿いの法面を区と連携して安全に管理

公園北側神田川沿いの法面では、杉並区との管理境界が複雑であり、双方で倒木の可能性や川沿いの歩道への越境枝があった。そのため**区と連携し、数年かけて整備していくこととし、今年度は該当区域の約1/4の面積にて樹木などの整理を実施**して危険性を除去した。



枯れた竹や倒木が折り重なって危険



風通しの良くなった竹林

地域と連携して防災意識の向上へ

Update より地域と連携した防災イベントへ

今年度の防災イベントでは事前に協力団体との意見交換会を実施。**近隣小学校PTAからの意見を汲んで、新たに地元消防団と連携した消火器訓練を行った**。そのほか防災マップ作成のワークショップも人気で、地域の防災意識の向上につながった。



NEW 地域の団体とパークミーティングを実施

防災イベント後に**パークミーティングを初開催**。杉並区役所危機管理室や荻窪消防署、地域防災NPO、富士見丘小学校PTA等との会議で地域防災への意見交換を行い、**次年度の防災イベントの内容への提言を得るなどの成果へとつなげた**。





浮間公園

伝統と新たな文化の融合で、まちの賑わいを生み出す公園



所在地：板橋区舟渡二丁目、北区浮間二丁目／開園面積：11.7ha

利用者のニーズを受けた新たな体験型プログラム

NEW 猛暑の夏に健康増進を応援、夜の公園利用

猛暑で日中の運動が難しい時期に健康増進も出来るイベントとして、天体観望（月まち倶楽部）とヨガ（お星さまヨガ）を同時に楽しめる「お月見ヨガ」を初開催した。天体観測とヨガそれぞれ異なる対象**双方への告知、広報の効果によって**多くの参加者につながり、また、両方のプログラムに参加することで新たな楽しみの発見を提供することができた。

公園で活動しているコミュニティの相乗効果を生み出すことで、**活動の活性化と地域の連携**を深めることができた。



参加者 約300人

夜の公園で健康増進

NEW インクルーシブなイベント

聴覚障がい者も一緒に楽しめる星空観望会を初めて開催した。北区聴覚障害者協会、北区手話サークル、東京成徳大学手話サークルと連携し、課題である暗い中での伝え方を、光る解説板とプロジェクターによる映写で解決した。**聴覚障がい者25人を含め約100人**の参加があり、初心者には敷居の高い星空観望をわかりやすい解説付きで体験してもらえた。

また、日頃聴覚障がい者との交流が少ない大学手話サークルのメンバーに手話実践の機会として、**手話技術の向上と交流の場を提供**することができた。



聴覚障がい者向け星空観望会

チームUkiUkiミーティングによる公園と地域の更なる活性化

Update チューリップ球根植え付けの財源確保

地域協議会チームUkiUkiミーティングによる「キッズスマイルフェスタ」や「UkiUkiマルシェ」を合計3回実施。**延べ約3万人**の来場者で入口広場が賑わった。これらのイベント収入の一部を「**1万本のチューリップ**」事業の財源にし、「うきうき隊」や植付けイベントに事前申込された方や、近隣保育園など**約400人**で球根の植付けを実施。

また、コメダ珈琲店浮間公園店の花壇でもコメダ珈琲店従業員と「うきうき隊」が協力して球根の植付けを行いチューリップで統一された公園づくりができた。



キッズスマイルフェスタ2024(秋)



多世代でインクルーシブな広場づくり

Update 子どもたちの心身の育成、子育て世代のコミュニティの場

近隣保育園と協力して、風車広場で親子で楽しめる児童向けのワークショップを実施する「青空保育」を計6回開催。近隣の親子を中心に延べ約180名が参加。子ども達が楽しんで遊べて学べる場を提供するとともに、**子育てに関する悩みを抱える親のコミュニティ形成の場を提供**することができた。



あおぞら保育

Update 高齢者のくつろぎ空間を創出

近隣高齢者施設（浮間高齢者あんしんセンター）と連携し、初夏には「オレンジガーデニングプロジェクト」と題して世界認知症デーに向けシンボルカラーのオレンジ色の花の種まきをレイズドベッド花壇で実施。秋には「レイズドベッドをたねダンゴdeお花いっぱい」と言う企画で参加者15人でたねダンゴ作りや植付けを行い、**誰もが参加できる花壇づくり**を実現することができた。当日の参加者との**多世代交流**に貢献することができた。



オレンジガーデニング

コメダ珈琲店浮間公園店との連携

Update 写真展やチューリップ花壇の植え付けの実施

コメダ珈琲との連携によって無料休憩スペースを活用した写真展や園内イベント、行事情報の発信などを実施した。また、コメダ珈琲の花壇にも店舗従業員と「うきうき隊」メンバーとが協働してチューリップの球根を植え付けるなど様々な取組を実施した。**公園と民間事業者が協働して地域と公園の魅力と価値の向上を創出**した。



コメダ珈琲店前花壇



写真展示

警察、消防、地域と連携した「防災イベント」「防災訓練」

Update 地域の防災意識向上に貢献

警察、消防、地域と連携した防災フェスタ（約1,000人）や防災キッズフェスタ（約2,000人）、近隣企業との合同防災訓練（約130人）合同水難訓練（約40人）など**計4回実施**。なかでも初めての実施となる警察との合同水難訓練（警視庁災害対策課他**合計約40人**）では、気候変動の影響によって**豪雨災害**のリスクが高まるなか、サービスセンター職員の水難救助の知識・能力の向上を図ることができた。



浮間公園初の警察との合同訓練

公園の安全・安心を守る環境整備

Update 異常の早期発見、漏れのない巡回点検

園路、広場、トイレ等施設の漏れの無い巡回点検により、安全利用を確保し、発見時の速やかな対応を実施。浮間ヶ池の護岸が一部崩壊した際は、迅速に安全確保を行い専門業者と**施工方法を検討し適切な修復**を行った。また、土砂流出の予防策として法面にオカメザサの植栽を行うことで、美観を整えながら同時に土砂流出を防ぐ対策を行った。**緊急時の速やかな対応**に加え、大きな事態になる前に予防策を講じるなど、安全、安心な園内の利用環境を維持した。



浮間ヶ池の護岸修復作業



美観を考慮した土砂流出防止策



赤塚公園

地域とともに、歴史と自然とアートを
紡いでいく公園



所在地：板橋区高島平三丁目等／開園面積：25.5ha

開園50周年記念をアート空間の創出でお祝い

NEW 開園50周年記念キャラクター誕生！

開園50年を迎え、地域の小、中、高の子ども達の**応募作品342件の中から選ばれたオリジナルキャラクター**が誕生。紹介セレモニーでは、2,000人の来場者が訪れ、お祝いムード一色となった。公園の魅力アップに加え、**地域の子どもの郷土愛を育む**事業となった。



キャラクターの産みの親を招いて「あかつっちゃん」のお披露目

Update 光る風船をあげて「東京五感公園」

公園×アートをコンセプトとした東京五感公園を開催。イベントの設営や会場運営では、近隣の高校、ボランティアの中高生と連携。また、クラフトマーケットでは、**初めて福祉施設と連携**。中高生や障がい者など多様な人たちに**社会貢献の機会を提供**した。



カウントダウンで300個の光る風船が一斉にそよぐ

高島平地域活性化イベントでつながる連携と地域の価値向上

Update 「スポーツ」をテーマに

今年で2回目となるグランドデザイン連携イベント。UR都市機構のキッズバイクをはじめ、板橋区はテニス、公園はモルックを企画。マルシェの発電では、企業の電気自動車を活用。地域の各主体が連携し、スポーツをとおして高島平**地域の魅力を伝えた**。



レッツ モルック！

NEW 「スタンプラリー」×「音楽」

地域の商店街や施設を巡る高島平スタンプラリーを8日間開催。最終日に、小学校跡では近隣高校生のライブ演奏などのイベントを開催して盛り上げた。スタンプラリー参加者約150人に地元を知り発見する機会を提供でき、**地域活性化に貢献**した。



街歩きで周遊イベント



ボランティアや高校生と取り組む生物多様性事業

NEW 生態をPRする取組

サービスセンターの窓口に設置した「生態インフォメーション」のコーナーで、季節毎の展示を企画。「昆虫」や「種」にスポットを当てた展示は大人気！崖線の希少な野草等の紹介を継続することで、豊かな自然をアピールした。



季節でテーマを設け展示

Update 高校生と共に ニリンソウ自生地保護

日頃、ニリンソウ自生地の手入れをしているボランティアと協働で作業してきた、近隣高校の生徒会の活動が**定期に発展**。クズの除去作業や下草の処理等で、ボランティアとの交流も深まった。**若年層へのニリンソウ保全の意義を伝えることができた**。



カマの使い方も教わります

NEW ナラ枯れの再生 「みんなで植樹」

城址地区のナラ枯れ木の伐採によって、失われた雑木林の再生として、ボランティア26人と連携して、クヌギ、コナラなど60本を植樹。数年後を見据えた**再生の実現**と、50周年記念植樹とすることで、**公園への愛着**につながった。



未来の公園につながる

公園でやりたいことを叶える ～公園マイプラン～

NEW 自然で遊ぼう赤塚公園

「火起こし」、「園路にお絵かき」等、障害のあるなしにかかわらず、普段体験できない遊びを用意。参加者から「火おこしを子どもに体験させたかった」、「自然の中で遊べて心がほぐれた」など遊びを通して**親子の対話を豊かにし、地域のつながりを深める**ことに貢献した。プレイリーダーから、「初めて会う子ども達が遊ぶ中で一体感が生まれた」、「あきらめずに挑戦する子ども達の姿に感動した。」と**次世代プレイリーダー達の学びの場**となり、活動の発展に協力できた。



初めての火起こし

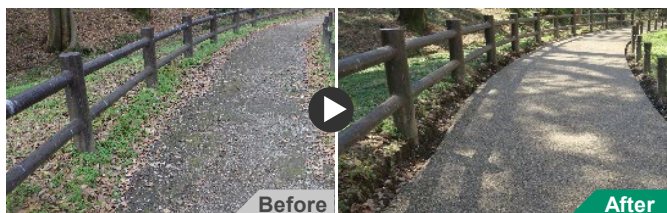


手話を交えた読み聞かせ

公園施設のリニューアルで魅力アップ

Update 利用者目線での公園施設の改善

障がい者団体による調査結果を参考に施設補修を実施。だれもが訪れやすい公園を目指し、ニリンソウ自生地の不陸解消や車椅子利用可能看板で、通行しやすい利用環境を提供した。



園路の不陸（施工前）

園路の不陸解消（施工後）



野外卓（施工前）

野外卓（施工後）



車椅子通れます看板（施工前）

車椅子通れます看板（施工後）



ベンチ（施工前）

ベンチ（施工後）



石神井公園

地域で育む豊かな自然、小旅行気分も楽しめる都会のオアシス公園



所在地：練馬区石神井台一丁目等／開園面積：22.6ha

未来につなげ地域と自然の調和

NEW 「Bird Festa」

石神井公園開園65周年、日本野鳥の会90周年の共同企画「石神井公園バードフェスタ」を、野鳥図鑑画家の谷口高司氏をに迎え、大人向けと家族向けの2部構成で開催。また、高性能双眼鏡体験、野鳥の会90周年のグッズ販売ブースは終日多くの人で賑わった。**当日の参加者は600人を超えた。**参加者は、野鳥のみならず、公園が取り組む**生物多様性保全への関心と意識を高めていた。**



沼沢植物群落内の鳥の巣を観察する参加者

「蝶々園の魅力発信～3年目の挑戦～」

幅広く蝶の魅力を届けるため、**蝶々園観察会を子ども向け、大人向けに企画内容を分けて6回開催**した。子ども向けでは塗り絵コーナーを設け、子ども達は「今度あいたい蝶」、「私だけの夢のちょうちよ」など思い思いの蝶を描いていた。大人向けでは、自然散策ガイドツアー、石神井公園ガイドツアーを織り交ぜ、**公園の自然環境と蝶の魅力**を届けた。



子どもたちの思いが詰まった塗り絵

NEW こども図書館 しゃくじいたんけんぶっく

石神井図書館から寄贈された書籍で「こども図書館」を開設。また、図書館と共同で**公園の自然がテーマのクイズを毎月出題する「しゃくじいたんけんぶっく」の作成提供**を始めた。年齢問わず公園への関心を高めるアイテムになっている。



公園をより楽しむアイテム たんけん ぶっく

NEW New花壇ボランティア

障害者就労支援団体から花壇維持のボランティア活動の申し出があり、10月に秋まきの花苗を団体の加入者と協会職員が協力して植え込み作業を行った。この花壇**ボランティア活動を通じ地域と公園のつながりが深まった。**



新たなひとつつながる花壇

NEW Keep our park Clean

地元のカブスカウトとゴミ拾いボランティア活動を実施。石神井池側と三宝寺池側に分かれた子どもたちは競ってゴミ拾いをする一方、生き物をみかけると手に取り観察するなど**自然と触れ合い、自然を守り伝えることの大切さを学ぶ機会を提供できた。**



競うようにゴミを拾う子どもたち



ひと、社会、自然をつなぐThink Ethical Park Dayの開催

NEW Park Meeting開催

今後の公園運営に対する意見交換の場として、公園と関連する地域団体、機関を招きPark Meetingを開催。**商店街から共同での防災訓練、別団体からは3/8開催イベントへの新規出店の要望が出されるなど活発な意見交換の場**となった。



Park Meeting 開催風景

Update THINK ETHICAL PARK DAY

自然と調和し、持続可能な未来を目指すエシカルな集い「Think Ethical Park Day」が4回目を迎え、**過去最大の15団体が参加、7団体が新規参加となり新たな地域連携**へとつながった。アイルランド民謡演奏、ゴスペル合唱等音楽演奏を入れ会場の一体感を創出。また、**今回初めて子どもたちが自分でデザインした蝶の羽を身に纏い野外ステージでパレード**を行った。**親子で参加して楽しめる内容**となった。今回も各団体がワークショップや交流会を通し**環境保護の啓発、地域連携を深める**ことができた。



自分オリジナルの蝶をデザイン中



寒空の中、各ブースは来場者で賑わっていた

防災意識を高め災害に備える

NEW 小学生・中学生対象防災学習会開催

警察署、図書館と協力し防災意識向上を図る初の試み、**防災学習会を、小学生、中学生対象に2回開催**。防災基礎知識のレクチャーの後、防災公園として石神井公園が備える非常用設備、かまどベンチ、防災あずまや、非常用トイレの実物を紹介し、実際にそれらに触れてもらった。**大規模災害への日ごろからの備えの大切さと、非常時に何ができるかを考える時間を提供した。**



かまどベンチの運営体験



防災あずまやに興味深々

利用者の安全確保と利便性の向上

Update 人命救助への取組

毎月、職員間で様々な状況を想定し救助についてミーティングを開き、**安全管理意識の維持、向上**を行っている。継続した取組の結果、意識不明状態で発見された来園者にAEDでの心肺蘇生を行い東京消防庁から感謝状が授与された。



応急手当研修

Update A地区野球場利用再開

2年間利用休止していたA地区野球場が8月から利用再開。ベンチが未復旧のまま利用再開が決まったため、**熱中症対策として簡易テントと折り畳みベンチを準備**し利用再開にこぎ着けた。利用者にも好評で9月以降も順調に運営できている。



暑さ対策の簡易テントと折り畳みベンチ



大泉中央公園

子育て世代のニーズをとらえ、リアルな体験で思いで作りができる公園



所在地：練馬区大泉学園町九丁目／開園面積：10.3ha

自分でみる・さわる・たのしむ！リアルな体験で学ぶキッズプロジェクト

Update 年間34回延べ500人参加！夜でも冬でも何度でもやっちゃうフレキシブル自然観察会

参加者自ら生き物を発見できるよう誘導し、実際に触れて生じた感動や質問を何でも受け止める体験型観察会を日常的に実施。
夏休みには夜行性生物の観察ができる非日常体験も提供。「この公園が自然遊びの原点」「おかげで学校では虫博士」等の声があり、4年前からの継続的な取組により地域にファンを増やすことができた。



夜のいきもの観察会では、カブトムシだけでなく巨大なガも参加者に人気

Update 手作りグッズで「守って・遊んで・学べる」！一石三鳥の生物多様性保全

夏は廃棄トラロープで作った**天敵オニヤンマの模型**を「**殺さないスズメバチ避け**」として**樹液スポット**に設置し、安全確保と生態系保全を両立。冬は昆虫・クモ類・トカゲ類の越冬場所を確保しつつ、シートや布をめくって生き物探しと観察ができる仕組みを**園内30か所**に設置。**生物多様性の重要性を楽しみながら学べる場を創出した。**



樹液に集まるスズメバチが7割減し、安心して昆虫観察できるように！

Update 育てる楽しさ・食べる喜び
地場野菜食育プロジェクト

地場野菜の育成、地域コミュニティの活性化に寄与するため、四季を通じた**年4回**のプログラムを実施し、**累計97人の参加があった。**今年度は農薬に頼らず害虫を避ける**コンパニオンプランツ**を導入し、育てる楽しさや食べる喜びを提供できた。



収穫した大根を持ち喜ぶ参加者

NEW 「知ること」からはじめる
災害時の自助と共助

災害用マンホールトイレ見学体験会「**キッズ防災体験**」を開催。プレーパーク参加者および近隣在住の**来園者35人**に対して、災害時における**公園の役割と自助・共助**について啓発するとともに、地域の方の災害対応力向上にもつながられた。



災害用マンホールトイレの仕組みを学ぶ親子連れ

3つの公園が隣接する立地、スケールメリットを活かす！

地域を盛り上げたいとの思いから、区立大泉さくら運動公園・埼玉県営和光樹林公園と連携し、「3公園をめぐるキッズチャレンジ」を開催した。各公園が工夫を活かしたチャレンジゲームに**248人**が参加。**地域の回遊性を向上させるイベント**となった。



チャレンジゲーム「フライングディスクゲーム」



3公園連携で回遊性を向上、広域緑地帯のスケールメリットをアピール！

合同巡回・清掃で安全性向上！ クリーンアップキャンペーン

「3公園連絡協議会」にて協議した内容を基に、各指定管理者の垣根を超え、**地域一帯の魅力向上や美化推進**を目的に実施した。公園ごとのトラブルや地域住民からの意見要望の共有を行うとともに、**広域緑地帯としての協力体制を強化**できた。



3公園連携による清掃活動

楽しく健康に！ 3公園2緑道をめぐるノルディックウォーキング

3公園の回遊性向上と健康増進を目的に、ノルディックウォーキングを開催。各公園の季節の見どころ等を案内し、約2.5kmのコースを歩いた。**高齢者も無理なく有酸素運動ができる**とともに、広域緑地帯を楽しむ**スケールメリットを提案**できた。



紅葉の中を歩く参加者

みんなが主役！アートと遊びでつなぐインクルーシブの実践

Update アートで彩る公園の四季 大泉特別支援学校アート作品展示

授業や文化祭で作ったアートの常設展、発生材を活用した作品で公園を飾るクリスマス企画、**職員・来園者と制作した生徒が交流する園内見学会**を実施。**支援学校と地域を繋ぐ輪を広げた**。



園内見学会で、展示されている自分の作品を指さす支援学校生徒

NEW 「最高のおもてなし」でお迎え 子どもの居場所プロジェクト

子どもの居場所づくり活動・困窮家庭支援を行うNPO法人キッズドアと協働し、**親子連れ23人**を公園に招待。生き物観察会・縁日・ワークショップを通じ、**親子で公園を楽しむ機会を提供**できた。

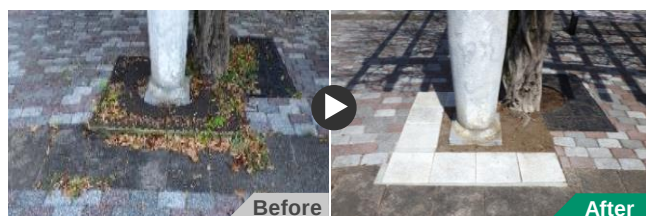


手作りの縁日コーナーで射的を楽しむ参加者

予防保全と長寿命化で、安心して利用できる環境を提供

NEW 利用者の声を取り入れたバリアフリー推進

車いすの来園が多い近隣支援学校からの要望で、根上りによる**段差の解消工事**を実施。**誰もが安全に利用できる環境を整えた**。



施設のこまめな手入れで安心・安全・長寿命化

老朽化によるささくれ防止のため、ベンチ6基に**ヤスリがけと再塗装**を実施。施設の長寿命化で、利用者に安全安心を提供できた。





練馬城址公園

地域とともに考え、つくる、
水と緑のふれあい公園



所在地：練馬区春日町一丁目、向山三丁目／開園面積：3.2ha

「地域のやってみたい」を実現！多様なコミュニティと魅力あふれる公園づくり

NEW 「Happy 1st Anniversary」

練馬区、春日小避難拠点運営委員会他、計8団体84人と協働し、参加者2,300人が開園1周年を祝うイベントを開催。ボランティアによる「出前えんにち」は多くの親子連れに好評だった。

花壇ボランティア「にじいろ咲かせ隊」初のイベントを展開。「自分たちで考えた企画で子ども達に楽しんでもらえて嬉しかった」等喜びの声を多数いただいた。地域住民が公園でやってみたいことが実現され、地域と共に創りあげる公園事業となった。



ねりまキッズ発案「出前えんにち」



にじいろ咲かせ隊とガーデンツアー

NEW 「としま縁日」

公園に隣接する3町会と12団体が連携した夏祭りイベント「としま縁日」を初開催し、約4,000人が参加。近隣で開催された盆踊りと同日開催して、公園及び周辺地域の賑わいを創出した。



昨年度の約3倍の148人が参加した花火体験会

NEW 「青空リユース・カフェ」

公園がハブとなり、子育て支援団体、図書館や清掃事務所をつなげ、コミュニティの場と資源循環を創出するイベントを開催し、サステナブルな意識向上と継続実施の反響多い事業となった。



子ども用品のおさがり会など1,500人が参加

NEW 「観月会」

パークミーティングで空が開けた環境を活かし「観測イベントをしたい」というニーズから季節を演出する観月会を初実施。

地域と連携し、空の広さが特徴である当公園の利用の可能性拡大に繋がった。



タジックアースで月の裏側を観測

公園×まち×ひと 地域連携による公園の魅力と価値の向上へ

Update パークミーティングの開催

行政、地元町会・商店会、地元小学校、地元企業、地域活動団体やボランティア団体、有識者、合計23団体33人が一同に会し、地域の多様な主体から意見や提案を募り、より良い公園づくりに向けた意見交換会として「パークミーティング」を開催。防災訓練やイベント協力、パトロール活動など、できることは参加したいとの意見が出て今後の地域連携や地域参画の機運が醸成し、公園を起点とした地域のつながりやコミュニケーションづくりの場となった。



防災、イベント等に関するアイデアが満載！



防災機能の普及啓発を！地域とともに防災力UPへ！

Update

あそんで学ぶ！「あそぼうさいフェス」

「みんなであそぼう、防災を学ぼう」をスローガンに楽しんで防災を学ぶ「あそぼうさいフェス」を地域団体10団体と協働して開催。パークミーティング等で課題になっていた「自助の重要さ」、「共助（連携）の強化」を基に各プログラムを組立てた。当日は**1,200人が参加し防災知識と対応力の向上、地域連携の強化**につながった。



練馬区避難拠点委員会による非常用トイレの展示

Update

地域防災訓練や防災施設見学会の実施

練馬消防署と連携した初期消火・応急救護等の防災訓練や町会や高齢者施設等の地域のニーズから生まれた「防災施設見学会」を計6回開催し、のべ425人が参加。園内防災施設について説明に加え、施設の一部組立訓練を共に行い、**防災公園としての機能の普及啓発**につなげた。



AEDを使った応急救護に子どもたちも興味津々

未来を担う子どもたちへ！生物多様性の向上と普及啓発

NEW

「バイオネスト」による 生き物観察や資源循環化へ

いきものクラブと協働し、多様な生き物がみられる公園づくりに取り組んだ。開園当初、土が露出していた植栽地の一部を植物観察ゾーンとして継続的なモニタリングを実施し、初めはアリさえいなかった場所に**約20種の土壌生物や節足動物等**が観察できる環境変化が見られた。また自然観察会の開催や剪定枝や落葉等の発生材を資源循環化し生き物の棲み処となるバイオネストを活用し、未来を担う**子どもたちへ、生物多様性の普及啓発**を行った。



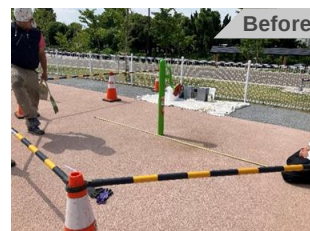
大きなバイオネストの完成させ、記念撮影

利用者ニーズに応じた維持管理 誰にでも使いやすい公園づくり

NEW

バリアフリー化や子どもの利用環境向上へ

- 皿型側溝自体が段差となり、自転車やベビーカーの通行に支障があったため、反射テープをつけた滑り止め加工を施した金属板を取付けた。より視認性が高く、**安全性と利便性が向上**した。
- 四阿ヘグリーンカーテンを設置し緑陰効果を図る他、遊具広場一部の床面に試行的に遮熱塗料を塗布し夏の暑さによる**熱中症対策を推進**し、子どもが安心して遊べる環境づくりに努めた。



施工前



施工後（遮熱塗料塗布）